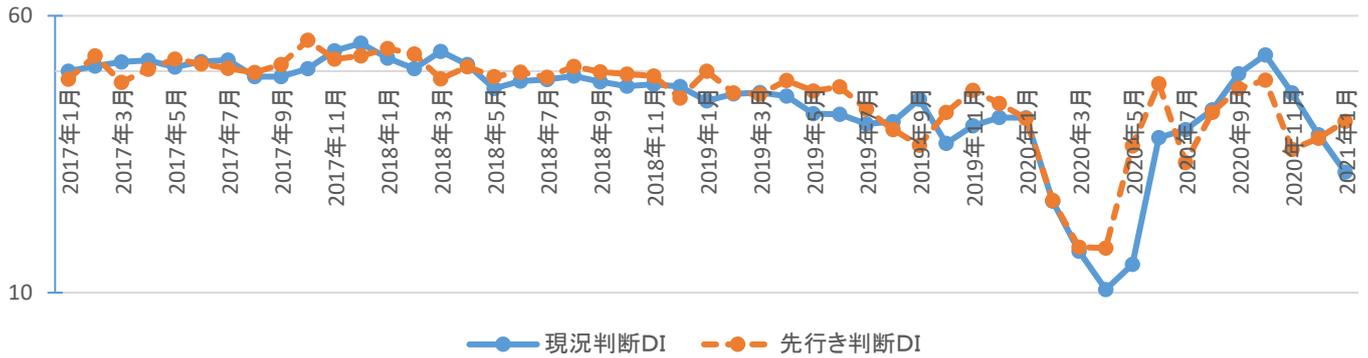


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2021年1月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《販売量の動き》新型コロナウイルス禍のなかで新規の来店は少ないが、既存客を中心に販売台数は初売りのメーカーCM効果もあり増えてきた。【乗用車販売店（経営者）】
		不変	《来客数の動き》前半は会社や学校が休みのため来客数が少なかったが、後半は戻ってきた。客単価があるので1か月を通して落ち込みは少なく済んでいる。【コンビニ（店員）】
		やや悪	《単価の動き》緊急事態宣言の発出で飲食店の買い出しの量が明らかに減った。この時期のメインとなるみかんも低価格で推移しているため、余り売上が伸びない月になった。【スーパー（店員）】
	企業動向関連	やや良	《取引先の様子》同業他社はどこも忙しく、早めに注文しないと納期が間に合わないため、どこも先行して注文を出して、忙しさに拍車を掛けている。電子部品関係の素材に関わる取引先は、どこもフル生産になっている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		不変	《取引先の様子》飲食関連、宿泊関連の事業者を中心に業績が厳しい状況が続いている。特に資金繰りが厳しい事業者は、廃業となる傾向がある。業績改善の兆しは見られない。【金融業（企画担当）】
		やや悪	《取引先の様子》仕事の引き合いの減少も気になるのだが、鉄製品の急激な値上げや品不足で安定的な生産に不安を感じ、収益的にも圧迫要因になりかけている。【金属製品製造業（従業員）】
	雇用関連	やや良	《求人数の動き》採用に前向きになってきている会社が増えてきた。決して今は買手市場ではない。【民間職業紹介機関（支社長）】
		不変	《求人数の動き》有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、僅かに改善傾向は見られるものの、依然大幅な減少が続いている。【職業安定所（次長）】
		やや悪	《求人数の動き》求人数は、3か月前には底打ち感があり上昇トレンドの見えてきた業種があったが、緊急事態宣言により再度厳しい状況になっている。【人材派遣会社（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	緊急事態宣言下にありながらも前年と同じ水準の売上を見込んでいる。緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、景気改善が期待できる。【乗用車販売店（経営者）】
		不変	新型コロナウイルスの特効薬が一般の人まで受けられるようになり以前のような通常の生活に戻らない限り、また、新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、現状と変わらないと思われる。【スーパー（店長）】
		やや悪	緊急事態宣言の効果で新型コロナウイルスの感染者数が落ち着き始めれば、内食需要は今よりも低下することが予想される。【スーパー（営業企画）】
	企業動向関連	やや良	新型コロナウイルスの感染状況が今よりは良くなっていく。いろいろな意味での設備投資が増えてくるのではないかとということと、年度末のため多少は期待できる。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	巣籠り需要で個人物流は伸びて一部の運送業者に集中しているものの、企業間物流が鈍化しているということで、全体的な消費増加には結び付いていない。【輸送業（従業員）】
		やや悪	足元の景気低迷や経営者の不安という部分、新型コロナウイルスの影響による時間短縮等の規制があることにより、景気の回復は非常に難しいという声をよく聞く。【金融業（従業員）】
	雇用関連	やや良	4月採用に向けて各社が求人を増やしてくるの見込んでいる。また、求職者もそれに合わせて動き出し、転職市場は多少改善すると考える。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束が見通せない。自動車関連の持ち直しや巣籠り需要で伸びている産業もあるが、新規求人数は減少が続いており、状況は厳しい。【職業安定所（所長）】
やや悪		2回目の緊急事態宣言が発出されて新型コロナウイルスの終息の時期が見えなくなり、不透明感がますます強まった。【人材派遣会社（企画統括）】	